



／ ほんとはんゆうのたのしさ ／

hanto

hanyu

都 邑 の 活 しさ

エネルギーが豊富な都市と、
自然体で呼吸できる農村。
ここ八戸都市圏は、その両方の魅力を
いいとこ取りできる贅沢な場所。
先輩移住者の多彩な生き方と地域の
魅力を、この一冊で紹介いたします。

八戸圏域連携中枢都市圏 移住パンフレット

八戸市・三戸町・五戸町・田子町・南部町・階上町・新郷村・おいらせ町
Hachinohe・Sannohe・Gonohe・Takko・Nanbu・Hashikami・Shingo・Oirase



ここには都会まちも邑いなかもありますよ。



八戸圏域連携中枢都市圏 エイト
八戸都市圏スクラム8

CONTENTS

03 『八戸圏域の魅力』

- 03 自然／気候
- 04 交通／食文化
- 05 農業・水産業／産業
- 06 医療／安全・安心
- 07 出産・子育て／教育
- 08 買い物／物価

09 『移住者のライフスタイル図鑑』

- 11 八戸市 今川 和佳子さん
- 12 三戸町 田中 俊行さん
- 13 五戸町 佐藤 岳広さん・美穂子さん
- 14 田子町 長澤 伸さん
- 15 南部町 根市 大樹さん
- 16 階上町 花澤 紫穂さん
- 17 新郷村 中平 将義さん
- 18 おいらせ町 外井 亜希さん

19 『八戸圏域8市町村の紹介』

- 21 八戸市 *Hachinohe*
- 23 三戸町 *Sannohe*
- 25 五戸町 *Gonohe*
- 27 田子町 *Takko*
- 29 南部町 *Nanbu*
- 31 階上町 *Hashikami*
- 33 新郷村 *Shingo*
- 35 おいらせ町 *Oirase*

37 八戸圏域 MAP&ACCESS

八戸圏域は、青森県太平洋側の南東部に位置する人口約33万人を擁する北東北の中核都市圏です。

人口約23万人の八戸市を中心に、古くから同じ南部領としてともに歩んできた三戸町・五戸町・田子町・南部町・階上町・新郷村・おいらせ町で構成され、8市町村が力を合わせて魅力あふれる圏域づくりに取り組んでいます。

農水畜産業や商工業、流通・サービス業といった多様な産業集積や、陸・海・空の交通アクセスに恵まれた八戸市を中心に、通勤・通学、医療、買物などの日常生活圏が形成されています。

近年、新たな仕事を始めたい、自然に囲まれたいと、地方への移住を希望する方々がとても増えています。

八戸圏域は、多様な産業と豊かな自然環境がある、半分都会、半分田舎の魅力にあふれた「半都・半邑（はんと・はんゆう）」の北のふるさとです。

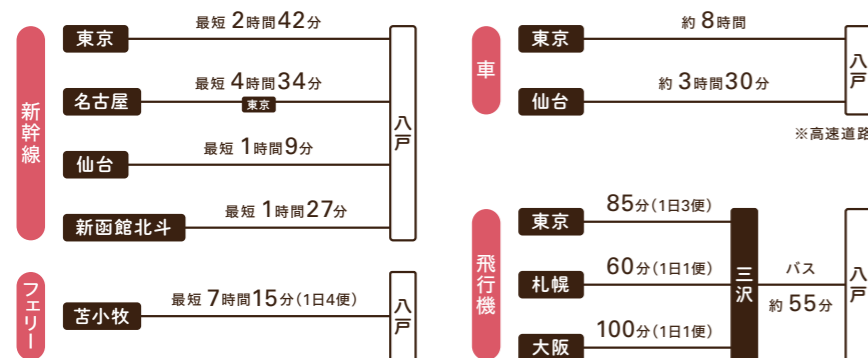
ちようどいい。 半分都会で、半分田舎が

やっぱり地方がおもしろい。
海・山、まちで生きる醍醐味。





首都圏への日帰りも可能な良好アクセス。



access 交通

陸・海・空でつながる

八戸圏域は、陸・海・空の交通アクセスに恵まれています。

八戸圏域の玄関口である八戸市は、東北新幹線や東北縦貫自動車道八戸線により、東北各地や首都圏とつながっています。一方、平成28年3月には北海道新幹線が開業し、函館までのアクセスが向上したほか、八戸港はフェリーによって北海道苫小牧市(札幌まで約1時間)と結ばれています。

また、三沢空港にも近く、東京や大阪、札幌などの大都市圏と1~2時間で結ばれています。

東北新幹線を利用すると、東京ー八戸間の所要時間は最短2時間42分。

八戸駅から圏域の町村には、青い森鉄道や路線バスが接続しています。圏域の町村へは、20~60分程で移動できます。

令和3年度末までには、三陸沿岸道路が全線開通予定となっており、更なるアクセスの向上が見込まれています。



階上岳は標高739.6m。四季を通して登れる山として人気がある。

美しい山・川・海まで見どころ満載

青森県南東部に位置し、標高1159.4mの三ツ岳(新郷村)を最高峰に、名久井岳(南部町)や階上岳(階上町)などの美しい山々を抱え、奥入瀬川、馬淵川、新井田川の3本の大きな川が流れ、美しい海岸線を有する太平洋に注いでいます。天気の良い日は遠く八甲田山系の峰々や、空と海の青が溶け合う太平洋の水平線の素晴らしい絶景を眺望することができます。

三陸海岸の北に位置する種差海岸・階上岳地域は、平成25年5月に三陸復興国立公園に指定されました。大小無数の岩礁と美しい砂浜、波打ち際まで広がる天然芝生地など変化に富んだ海岸線を有する種差海岸

は、約650種を超える多種多様な海浜植物や高山植物が咲き誇り、「花の渚」と呼ばれています。また、国内で唯一、間近で営巣の様子を観察できるウミネコの繁殖地として知られる「蕪島」は、国の天然記念物に指定されています。

階上岳は、群生する約2万本の山ツツジが咲き誇る景観や山頂からの眺望、裾野に広がる美しい里山が魅力で、登山やトレッキングのコースとしても親しまれています。

そのほか、ジオ(地球)に関わる地形、地層が見どころの「三陸ジオパーク」が、平成25年9月に日本ジオパークの認定を受け、その魅力や価値が注目されています。

新幹線・フェリー・空港にアクセス良好。起伏に富んだ絶景と独特の食文化。便利さとディープさを兼ね備えた圏域に住んだら、友だちを呼びたいくなることうけあいです。



nature

自然

食文化

food culture

豊かな食を味わう

八戸圏域は、新鮮な山の幸や海の幸によって豊かな食文化が育まれてきました。

やませを克服してきた先人たちは、米の代用として小麦やそばを栽培し、「南部せんべい」や「せんべい汁」、「そばかけ」、「ひつつみ」などの郷土色豊かな粉食文化を発展させてきました。階上町の「階上早生階上そば」は、強い粘りと豊かな風味が特徴で、青森県唯一の奨励品種となっています。

また、古くから馬産地として知られる五戸町では、「桜鍋」や「馬刺し」などを味わうことができます。

北東北の海に育まれた新鮮な魚介類が四季折々に食卓を彩り、中でも、ウニとアワビを使った潮汁「いちご煮」は、晴れの席やお正月に欠かせない郷土料理の一つとなっています。



気候

climate

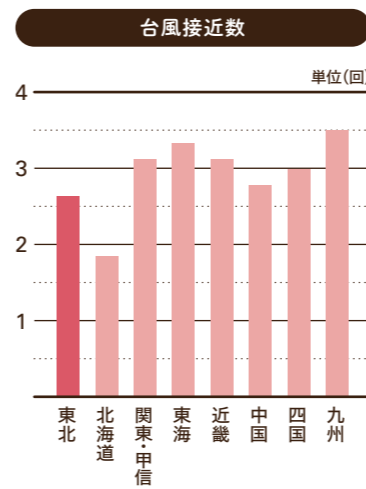
おだやかな気候にくらす

北東北にありながら、年間を通して穏やかで過ごしやすいことが特長です。

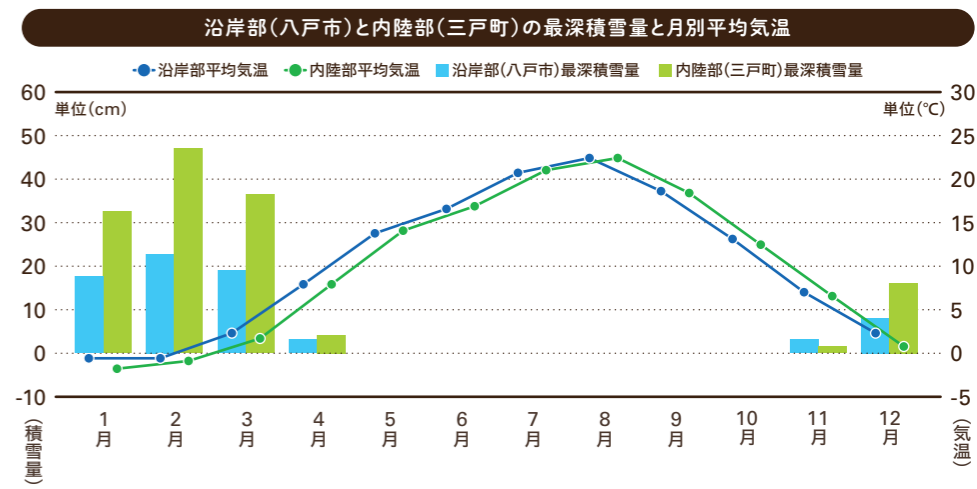
太平洋に面しているため、夏は偏東風(やませ)の影響で涼しい日が多く、冬は、雪の

多い日本海側に比べ降雪量が少なく、晴天の日が続きます。

また、青森県は全国の中でも台風の接近が少ない地域でもあります。



資料：気象庁「台風の接近数」(1981年~2010年までの平年値)



資料：気象庁「気象統計情報」(1981年~2010年までの平年値)



圏域の中核病院である八戸市立市民病院。



救急医療に対応するドクターヘリ・ドクターカー。

医療

medical

充実した医療

八戸圏域には、地域のかかりつけ医から高度専門医療を担う八戸市立市民病院(病床数608 / 診療科数33)まで、様々な規模・診療科の医療機関があります。

これらは相互に連携し、それぞれの役割・機能を分担して、プライマリ・ケア(初期医療)から高度専門医療まで切れ目のない医療を提供しています。

また、休日や夜間には、複数の医療機関による輪番制の診療体制がとられているほか、休日夜間急病診療所が開設されており、圏域内であれば、どこに住んでいても必要ときに必要な医療が受けられます。

命をつなぐ ドクターヘリ・ドクターカー

八戸市立市民病院では、救命救急センターを拠点に、青森県ドクターヘリの基地病院として運航を担うとともに、八戸圏域8市町村でドクターカーを運行するなど、救急医療体制が充実しています。

重症の心筋梗塞患者などに対応するため、八戸工業大学と共同開発の、手術室をドクターカーに連結した「ドクターカー V3」の運用も開始されています。



みちのくの銘柄「あおり倉石牛」。

高品質・多彩な農業生産

青森県は日本有数の食料基地であり、八戸圏域においても、米、野菜、果物、畜産と多種多様な農業が行われています。

特に、「たっこにんにく」や「あおり倉石牛」、「青森シャモロック」は品質の良さと全国ブランドとなっているほか、ながいも、にんじん、食用菊なども高い評価を得ています。

また、だいこん、ごぼうなどの野菜、いちご、ブルーベリー、りんご、さくらんぼ、ぶどう、ゼネラル・レクラーク(洋梨)などの果物の生産が盛んな一方、冷涼な気候と八戸港の飼料穀物コンビナートを背景に、養豚や養鶏を中心とした畜産の一大生産地となっています。

日本有数の水産都市

八戸圏域には、八戸市、階上町、おいらせ町に漁港があり、世界三大漁場の一つである三陸沖の好漁場に恵まれ、年間を通じて数多くの新鮮な魚介類が水揚げされています。

特に、国内有数の水産基地である八戸漁港は、イカの水揚げ量日本一を誇ります。

寒流に育まれた「八戸前沖さば」は、日本一脂がのったサバと市場関係者からの評価が高く、おいらせ町のホッキガイや階上町のウニ、アワビも当圏域の特産となっています。豊かな海の恵みで、豊富な海の幸が楽しめます。



サバやイカの水揚げで国内有数の八戸港。

水産農業

agriculture
&
fishing industry



産業

industry

北日本屈指の国際貿易港

重要港湾である八戸港は、中国・韓国航路、北米航路などの国際コンテナ定期航路や、京浜港を經由し海外主要港と結ぶ国際フィーダー航路を有し、北日本屈指の国際貿易の拠点として重要な役割を果たしています。多目的国際物流ターミナルでは2基のガントリークレーンと77基のリーファープラグが稼働し物流拠点都市として発展を続けています。

石油につぐエネルギー源と注目されているLNG(液化天然ガス)。東北最大規模のLNG輸入基地となった八戸LNGターミナルは、北海道と東北のエネルギー供給拠点。



北東北最大級の工業都市

八戸市は、昭和39年(1964年)の新産業都市指定を契機として、港湾や道路、工業団地などのインフラの整備が進み、臨海部には、製紙、金属、造船等の企業や飼料穀物コンビナート、LNGターミナルが立地しています。また、高精度センサや金属粉末等の製造・開発を行う高度技術産業、ソフトウェア業、IT・テレマーケティング産業等が集積し、4900億円を超える製造品出荷額等を有する北東北最大級の工業都市となっています。

世界オンリーワンの技術を持つ企業や、世界トップクラスのシェアを誇る企業などもあり、素材から製品まで様々なものづくりが八戸市で行われ、世界のマーケットに供給されています。



建設中のケミカルタンカー。

安全・安心 safety

安全・安心情報を『ほっとスルメール』でお知らせ

安全・安心情報メール配信サービス「ほっとスルメール」を24時間体制で圏域住民に提供しています。

「ほっとスルメール」は、パソコンや携帯電話、スマートフォンに配信され、気象、地震、防犯、交通安全、火災、消費生活、感染症、ライフライン等の11種類の中から自分の知りたい情報を選択できます。

また、大規模災害、事件、事故などが発生した場合には、緊急情報が全登録者に一斉に配信されます。

平成23年3月11日の東日本大震災により、沿岸部を中心に、住宅や工場、港湾施設が大きな被害を受けましたが、順調に復旧・復興が進んでいます。これまで以上に災害に強いまちをつくるため、小中学校や公民館等の耐震化や津波避難施設、避難道路、避難誘導標識の設置等を進めています。

また、自主防災組織の強化や防災教育の充実などのソフト対策も進め、行政と住民が一体となって災害に強いまちづくりに取り組んでいます。





- 八戸市**
 - 八戸市営魚菜小売市場 ☎ 0178-33-7242
 - 八食センター ☎ 0178-28-9311
 - 道の駅なんごう ☎ 0178-82-2902
 - 森の直売所 ☎ 0178-80-8099
 - 浜市場みなとと ☎ 0178-38-3741
 - 蕪島物産販売施設「かぶーにゃ」 ☎ 0178-38-5228
- 三戸町**
 - 道の駅さんのへ ☎ 0179-22-0600
 - SAN・SUN産直ひろば ☎ 0179-22-3266
- 五戸町**
 - ふれあい市ごのへ ☎ 0178-62-6962
- 田子町**
 - ガーリックセンター ☎ 0179-32-3165
 - 産直たっこや ☎ 0179-32-4208
 - JA八戸田子直売所 ☎ 0179-20-7715
 - Takko Farmer's Market ☎ 0179-23-0888
- 南部町**
 - 名川チェリーセンター ☎ 0178-75-0166
 - ふくちジャックドセンター ☎ 0178-84-4520
 - なんぶふるさと物産館 ☎ 0179-34-3437
 - そばの里 けやく ☎ 0178-76-1060
- 階上町**
 - 道の駅はしかみ ☎ 0178-88-1800
 - フォレストピア階上 ☎ 0178-88-4449
 - わっせ交流センター ☎ 0178-88-2709
 - はしかみハマの駅 あるでい〜ば ☎ 0178-38-3166
- 新郷村**
 - 道の駅しんごう ☎ 0178-78-3333
- おいらせ町**
 - アグリノ里 おいらせ ☎ 0178-56-2884
 - 観光PRセンター味祭館 ☎ 0178-52-8696
 - おはよう広場 ☎ 0178-56-5487

買い物 shopping

意外と商業機能が充実しているショッピング

八戸市中心街には百貨店や専門店、飲食店、郊外にはショッピングモールや家電量販店などがあるほか、市内全域にスーパーやドラッグストア、ホームセンターなども多数立地しています。

おいらせ町には映画館やボウリング場などの娯楽施設を併設した大型ショッピングモ

ルがあり、圏域内外から多くの家族連れや若者が集い賑わいを見せています。

八戸圏域では、新鮮な農産物・海産物を扱う朝市や道の駅をはじめとする産直施設が数多くあり、地域の人々や観光客で賑わっています。豊かな自然が育む産地ならではの多彩な旬の食材が楽しめます。



八戸市中心街



産直



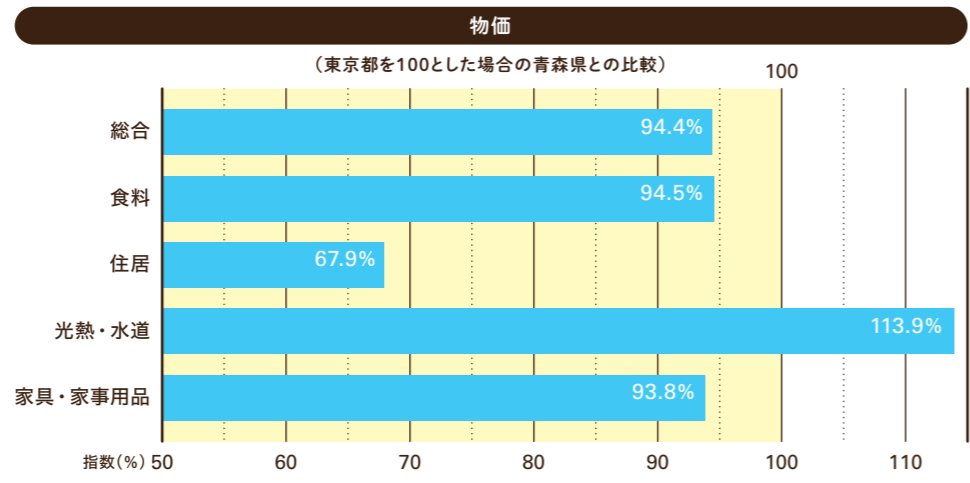
イオンモール下田 (おいらせ町)

物価 cost of living

家計に優しい物価で暮らしやすさを実感する

東京都と青森県との物価を比較すると、グラフのとおり光熱・水道費以外のすべての項目で青森県が下回っており、とても暮らし

やすい地域といえます。暮らしの基盤となる衣食住。低い物価でゆとりある生活ができます。



資料：総務省「平成30年小売物価統計調査」



新周産期センター (左側建物)



新周産期センター1階外来診察室

未来を託す出産

八戸市立市民病院には「周産期センター」が設置されています。

通常の出産はもちろん、高度な医学的管理が必要となるハイリスク出産や低体重出生児などにも対応できる診療体制を備え、地域の診療所とも連携しながら、安心して出産できる環境を整えています。

また、同院などで導入されている院内助産システムや助産師外来は、助産師によるきめ細やかなケアが好評を得ています。

そのほか、出産前後の訪問指導や妊婦検診・乳児健診の費用助成など、それぞれの市町村において各種支援制度が設けられています。

安心の子育て

幼稚園や保育所、認定こども園がバランスよく整備され、休日保育や一時預かり、地域子育て支援センターなどの保育サービスが利用できます。

各小学校区には児童館や教室等を活用した放課後児童クラブが開設され、小学生の放課後の遊びや生活の場となっています。

八戸市中心街に開設されている「こどもはっち」は、大人と子どもの交流の場として、温もりのある木の空間と、親子と一緒に楽しめる多彩なイベントなどが好評で、たくさんの親子で賑わいを見せています。

八戸圏域では、全ての市町村において、中学校卒業までの医療費助成や保育料の軽減を行っています。



就学前の子どもと大人と一緒に遊べる施設「こどもはっち」。

子育て・出産 Birth & parenting

教育 education

明日を担う教育が充実

八戸圏域は高等教育が充実しています。八戸市に大学・短大が3校あるほか、青森県内唯一の国立工業高等専門学校があり、地域の人材育成に貢献しています。また、東北有数の進学校や、商工農水産・芸術文化・看護等の専門科を有する高校も充実しています。

特色のある取組として、三戸町の小中一貫教育、田子町の県内公立学校初の連携型中高一貫教育があり、幅広い年齢の児童・生徒の交流により、社会性やコミュニケーション能力が養成されています。

◎ 八戸工業大学

北東北で唯一の私立理工系大学。工学部のほか、デザインに関わる知識や表現技法、地域の価値を発信するために必要な実践的なデザインスキルを学べる、感性デザイン学部があります。

◎ 八戸学院大学

スポーツ・健康・福祉について学べるカリキュラムが多く設けられています。また、短期大学部では保育と介護のプロを目指すことができます。

◎ 国立八戸工業高等専門学校

県内唯一の高专で、充実した設備・自由な校風の中で、世界に通用するエンジニアの育成を目指しています。創立以来、就職率100%の実績と高い進学率を誇っています。



確かな学力、豊かな心、健やかな体。心豊かでたくましい児童生徒の育成を目指す小中一貫教育 (三戸町)。



6
階上町
花澤 紫穂さん
Shiho Hanazawa
➡ P.16

団員は高校生中心。
表現のベースとして、
劇団は攻めながら
守りたい。



5
南部町
根市 大樹さん
Hiroki Neichi
➡ P.15

山と川つてきつと、
日本人の心の原風景。
五感を研ぎ澄ます感覚、
子どもにも伝えたい。



2
三戸町
田中 俊行さん
Toshiyuki Tanaka
➡ P.12

実がなって、
育つて、かたちになる。
仕事が目に見えるのが、
農業ならではの面白さ。

1
八戸市
今川 和佳子さん
Wakako Imagawa
➡ P.11

現代アーティストと、
民俗芸能のオジさま。
全然違う人たちと一緒に
つくるのが一番楽しいんです。



『移住者のライフスタイル図鑑』

アートやカルチャーに触れる都市の暮らし。自然と同じリズムで生きる農村の暮らし。
便利さと、心地よさ。あなたに ちょうどいい暮らしはどこに？
そのヒントは、八戸圏域に住む先輩移住者の声から見つかるかもしれません。
※2019年取材 時の情報です。



7
新郷村
中平 将義さん
Masayoshi Nakadai
➡ P.17

どこに住むかより、
誰といるか。
合うヤツを見つけたのなら
自分から一歩踏み出して。



8
おいらせ町
外井 亜希さん
Aki Sotoi
➡ P.18

ワクワクする気持ちを、
生きる力に。
まず大人が楽しめば、
子どもにも
伝わる。



3
五戸町
佐藤 岳広さん
美穂子さん
Takehiro & Mihoko Sato
➡ P.13

農家民泊と
カフェを始める予定。
農のある暮らしの
楽しさを知ってくれたら。



4
田子町
長澤 伸さん
Shin Nagasawa
➡ P.14

すみっこだけど、閉じこもってない。
世界とつながっている町。



名前 田中 俊行さん Toshiyuki Tanaka	移住先 三戸町
職業 果樹農家	移住歴 4年目(Uターン)
<p>2 1981年生まれ。実家は代々果樹中心の農家。東北大学文学部卒業後、物流系ベンチャー企業の仙台営業所立ち上げに携わり、やがて営業所長代理に。2017年、いずれ戻りたいと考えていた三戸町にUターン。父母が営む農業を本格的に手伝い始める。オフの楽しみは読書&晩酌と、地域の小学生バスケットボールチームの指導。</p>	移住する前の居住地 宮城県
	出身地 三戸町

名前 今川 和佳子さん Wakako Imagawa	移住先 八戸市
職業 アートコーディネーター	移住歴 14年目(Uターン)
<p>1 1976年生まれ。東京学芸大卒業。食・ファッションの企画・営業などに携わり2007年帰郷。08～13年、八戸市嘱託職員として「八戸ポータルミュージアムはっち」コーディネーターを務める。14年、「合同会社プロア」設立。アートを核とした地域振興プロジェクト等に関わる。「一般社団法人アーツグラウンド東北」理事。</p>	移住する前の居住地 東京都
	出身地 八戸市

「八戸ではみんなが表現者」
アートで地域を活性化

2011年2月に開館した「八戸ポータルミュージアムはっち」。観光展示にカフェ等を備えるほか、市民活動の場として活用され、今では街のシンボルの一つです。

八戸市を拠点に活動するアートコーディネーター・今川和佳子さんは立ち上げ段階から「はっち」に携わり、6年間コーディネーターとして在籍。写真家・ダンサー・ミュージシャンなどのアーティストと市民をつなぎ、交流から生まれる地域独自のアートイベントを企画・運営してきました。

14年の独立後は、民俗芸能と国内外のアーティストが共演する「三陸国際芸術祭」の企画や、市内の酒造「八仙」での文化交流イベントの企画運営、商品開発まで、活動の幅を広げています。

アーティストと市民との創作活動。全く異なったバックグラウンドを持つ人々をまとめるのは容易でない…と思いきや、「そこが実は一番楽しい」と笑う今川さんです。

「八戸の人は色々な文化を受け入れる素養があると思います。ひと声かければ面白いアイデアやすごいスキルがどんどん出る。三社大祭、えんぶり、神楽など表現に関わる人が多くて、みなさんクリエイティブ。だから現代のアーティストたちとも、どこか共感し合えるし、無限の作品が生まれる可能性があるんです」

“足りない”からこそ、

活躍できる場所がきつとある

八戸市で生まれ育ち、東京学芸大学進学

未来の自分を描いたとき、
直感で決めたUターン

戦国時代に城が築かれた三戸町は、日本最古級の城下町。メインストリートの奥州街道を歩けば、そこに残る古民家や神社仏閣が歴史の深さを物語ります。また、ロングセラー絵本『11ぴきのねこ』シリーズを生み出した漫画家・馬場のぼるさんは三戸町出身。町では商店の看板や道端の石像など、至る所でねこたちが出迎えます。

しかし今回の舞台は、町の中心部から南へ4キロほどの目時地区。岩手との県境にある無人駅・目時駅を中心としたエリアにあるのは、視界いっぱい緑の。田園風景の中に家が点在し、鳥の声が響く里山です。

田中俊行さんが宮城県から戻り、両親の営むりんご栽培に携わり始めたのは2017年。それ以前は物流サービスを担うベンチャー企業で、仙台営業所の支店長代理を務めていました。

「仕事は楽しい。でも一生涯社勤めする自分は想像できなかった。なんとなく40歳までには帰って農業しようと思ってました」
「なんとなく」とは、すなわち直感。友人に驚かれながらも淡々と準備を進め、数か月後には三戸の畑に立っていました。

ツウを喰らせる三戸りんご

目指すは生産増&6次産業化

田中家の栽培品目は、主力のりんごをはじめメロン、すいかなど、果物が中心。三戸町は盆地にあるため昼夜の寒暖差が大きく、糖度の高い果物が穫れます。そのおいしさは、りんごを食べ慣れた青森県民の間でも



をきっかけに上京した今川さん。帰省の際に「はっち」開館の計画を聞き、Uターンを決めたのは2007年のことです。

「全国で中心商店街の衰退が進み、八戸も例外ではないと聞いていました。でも同時に、アートで地域を活性化化する動きが東京から地方に広がり始めた頃で、『はっち』なら、アート、食、子育てなど、多様なジャンルの交流から独自の活動がつけられるのでは、と」

大学時代にアートイベントにボランティアで参加したり、卒業後は食、ファッションなど多彩な職種を経験。視野を広げたことで、10代の頃のネガティブな印象が可能性に変わりました。

「八戸にはあれもない、これもないと昔は思っていました。今も『ないもの』がまだまだたくさんあると思います。でもそれは『都会にあつて八戸にないもの』という意味ではなくて、この街らしく発展していくために必要なものことです。それは農業かもしれないし、観光かもしれないし、アートかもしれない。『足りない』は、みんなが活躍できる余地があると言い換えられますよね。それに八戸には、自然も歴史も産業もある。もし移住しても、その人なりの街との関わり方を見つけやすいんじゃないでしょうか」

「味は三戸」と評されるほど。3カ所ある田中さんのりんご畑。その1つに案内してもらおうと、初夏の摘果(1株に5〜6個ついた実のうち、形の良い1個を残し他を摘み取る)真っ只中でした。まだ青い実を一つひとつ手に取り成長を見極める鋭い眼差し。淀みないハサミ使いはプロの風格です。しかし意外にも「実は農作業はほぼやったことがなくて、戻って一から教わりました。意外と難しくなくて、言ったら怒られるかな(笑)」とのこと。

農業の魅力を尋ねると、「実がなつて、育て、形になる。目に見えるものができてくる面白さは、金額や数字をクリアするのとは違う、農家ならではの喜びかもしれない。正直、収入はもう少し欲しいけど(笑)」

大部分を青森県産が占める国産りんごの輸出額は、5年連続100億円突破(2018年)。「青森りんご」の価値を世界が認めつつあります。田中さんも畑の拡大を計画中。6次産業化も視野に入れていきます。

「『南部どき』の根市(※15ページ参照)が高校の同級生で。近くで頑張っているのを見ると、何かしたいなって思うんです」

Uターンと同時に就農して3年。仲間に刺激を受けながら、りんごの可能性を追求する日々が始まろうとしています。



りんごの摘果作業



スナップエンドウの収穫



見晴らしのよい高台にあるりんご畑



立ち上げに参加した八戸ポータルミュージアムはっちの館内



八戸ポータルミュージアムはっち内の馴染みのお店で



八戸名物の「ほよ」と「おやじ」を掛け合わせた八戸の横丁マスコットキャラクター「よっぱらいほよじ」を命名した今川さん

名前	長澤 伸さん Shin Nagasawa	移住先	田子町
職業	グラフィックデザイナー	移住歴	5年目(Uターン)
4	1975年生まれ。北海道造形デザイン専門学校(札幌市)でデザインを学ぶ。雑誌レイアウト等を手がける都内デザイン会社に8年間勤務後、「キンアカデザイン」事務所を設立。2016年田子町にUターン後は、首都圏の仕事に加えて地域の商品ラベル・Tシャツ・ポスター等のデザインにも活動の幅を広げている。	移住する前の居住地	東京都
		出身地	田子町

「田子町の仕事が多いので、次は青森県、」

「田子町の仕事が多いので、次は青森県、」

「田子町の仕事が多いので、次は青森県、」

名前	佐藤 岳広・美穂子さん Takehiro & Mihoko Sato	移住先	五戸町
職業	無農薬栽培農家	移住歴	5年目(孫ターン)
3	1981年生まれ(岳広さん) / 82年生まれ(美穂子さん)。都内のIT企業でエンジニアをしていた岳広さんと広告営業から介護職員に転身した美穂子さんは2012年に結婚。16年、岳広さんの祖父母が農業を営んできた五戸町に長男・次男を連れて移住。17年から2年間の農業研修を経て19年に独立。同年、長女が誕生。	移住する前の居住地	東京都
		出身地	埼玉県(岳広さん) 大阪府(美穂子さん)

「農家1年生が生意気なことはいえないで」

「農家1年生が生意気なことはいえないで」

「農家1年生が生意気なことはいえないで」

「隅っこだけど、閉じてない。若者がつながりやすい町」

「隅っこだけど、閉じてない。若者がつながりやすい町」

「隅っこだけど、閉じてない。若者がつながりやすい町」



ネット社会の現在では東京の仕事もスムーズに



感性を発揮してデザインに取り組む



緑豊かな庭で打合せすることも



移住者仲間の山口さんと始めたイベント「ピクニックマーケット」



抽台した大根は種用に、両脇には人参



無農薬にこだわった米作り

名前	花澤 紫穂さん <i>Shiho Hanazawa</i>	移住先	階上町
職業	劇団HACHIPOO! 副代表・専門学校生	移住歴	6年目(Uターン)
6	1997年生まれ。12歳で初めて受けたオーディションに合格。ミュージカル女優を志して母・由記子さんと千葉県へ移住する。芸能スクールで演技・歌・ダンスを学び、高校卒業を機にUターン。同時に「劇団HACHIPOO!(ハチプー)」旗揚げ。2019年、八戸理容美容専門学校入学。学業と劇団活動の両立に奮闘中。	移住する前の居住地	東京都
		出身地	八戸市生まれ 階上町育ち

女優を目指し上京↓帰郷
18歳が地元で見つけた夢は

幼い頃から歌が好きな花澤紫穂さん。小学6年生で受けたオーディションに合格し、ミュージカル女優を目指して父の出身地、千葉県に移住。母・由記子さんも行動をともにします。中学に通学しながら芸能スクールの卒業し、エキストラや舞台の仕事をするように。歌や芝居を学びながら卒業できる芸能系高校へ進みますが、夢への足掛かりをなかなか掴めず日々日々で。同じ頃、紫穂さんの高校進学を機に階上町に戻った由記子さんも悩んでいました。

「紫穂が近況報告のたび不満ばかり言うのが気になって。感謝を忘れれば成長も成功もないということが、どうしたら伝わるのだろう?と考えていましたね」

母娘が下した決断は、紫穂さんのUターン。「用意された舞台上上がるのではなく、作る側に回ることで気づきが得られるのでは」と考えた由記子さんのサポートもあり、2015年、紫穂さんは帰郷と同時に劇団HACHIPOO!(ハチプー)を旗揚げします。

団員を募ると、八戸市や十和田市から10〜50代が集まりました。「まずは舞台上に立つ楽しさを味わってほしい」と、紫穂さんは絵本の読み聞かせパフォーマンズやライブを企画。そして同年秋、初のオリジナル作品『5枚のチケット』を上演します。

劇団は「攻めながら守る」
メディア出演で地元をPR

年1〜2回の本公演のほかにも、ファン



演技指導する花澤さん



ミュージカルの台本打合せ



演劇に出演

名前	根市 大樹さん <i>Hiroki Neichi</i>	移住先	南部町
職業	カフェ経営・観光ガイド・農業etc...	移住歴	17年目(Uターン)
5	1981年生まれ。大阪芸術大学文芸学部卒業後、Uターン。新聞記者、オーストラリア滞在を経て2011年、弟でシェフの拓実さんとフレンチレストラン開店。農業のかたわら「NPO法人青森なんぶの達人村」立ち上げに関わり2年間事務局を務める。16年、合同会社南部どき設立。18年12月、三戸駅前に同名のカフェを開店。	移住する前の居住地	大阪府
		出身地	南部町

祖父と過ごした畑が原点
農家支援と地域おこしに着手

青い森鉄道・三戸駅前に同名のカフェを開いた合同会社南部どき代表・根市大樹さん。年々寂しくなる駅前通りを活気づけたいとの思いがオープンのかきつけでした。「地域の人がコーヒーを飲みながら休んだり、話したりする場所があればいいな」とお年寄りにも気兼ねなくつろいでもらいたいと、店内の長椅子は病院から譲り受けたもの。2階にはキッズスペースを設けて、家族連れが利用しやすくしています。

カフェのほか、果樹栽培の過程で出る剪定枝を使った燻製製品の開発・販売、果物狩り・燻製づくりの体験型観光など、農家支援と地域おこしに幅広く取り組む根市さんは、今や町の若手リーダーといえる存在。しかし10代の頃は、「地元も農業も大嫌い」だったといいます。根市家は兼業農家。

「じいちゃんに畑に連れて行かれて、収穫とか穴掘りとかやらされるのが嫌だった。他のみんなはテレビ観たりゲームしたりしてるのに、なんで僕と弟だけ!?って」

しかし大学4年生の夏、その価値観は、祖父の死をきっかけに揺らぎ始めます。

「木からもいで食べたさくらんぼの味とか、ぶどうをつまみながら近くの川で釣りをしたこととか、そんなことばかり思い出して。たいしたことじゃないと思ってた畑での時間が、自分の中ですごく大きなものだったんだって気づきました」

内定していた都内の就職先を蹴ってUターン。地元紙の記者になりましたが、耕作放棄地の増加や後継者不足など農業の厳しい現実を目の当たりにし、農家を継ぐこと

子どもたちと一緒に
五感を使って感じる自然

カフェ「南部どき」で店長を務める妻・雪奈さんとの間には2人の息子がいます。子どもたちとの時間を通じて、南部町の良さをあらためて実感しているとか。

「山があって川があって。南部町は、日本人の心の風景みたいなところだと思えます。朝起きて『山の紅葉が進んだね』とか『風が冷たいから雨が降りそう』とか、五感を使って自然を感じられるのは気持ちいいし、子どもと同じことを体感して、自分も一緒に育っていく感覚が嬉しい」

19年6月には音楽やアート、ヨガなどのイベントを初開催。子どもたちに地域での思い出を作ってもらいたいから、「息切れせず(笑)ゆるく長く」続けるのが目標です。



果樹の剪定枝を使って作った燻製製品



青森自慢のホタテを使った燻製製品



珈琲&燻製のカフェ「南部どき」で店長の妻・雪奈さんと

名前	外井 亜希さん Aki Sotoi	移住先	おいらせ町
職業	NPO法人代表	移住歴	9年目(1ターン)
8	1976年生まれ。札幌国際大学短期大学部で心理学を専攻。銀行勤務の後、2008年に結婚。夫の赴任に伴いおいらせ町へ移住し、3人の娘の子育てのかたわら自然を活用した子育て支援活動を始める。18年に「NPO法人おいらせ自然楽校」を設立し代表に就任。19年春から「八戸ポータルミュージアムはっち」コーディネーター。	移住する前の居住地	北海道
		出身地	北海道

手近な自然の素晴らしさに感動 子どもと一緒に楽しもう！

2012年、夫の転勤がきっかけでおいらせ町に移住した外井亜希さんは、そのまま定住を決めました。根を下ろした理由は、「田舎具合がちょうどいい」から。「野菜も果物もレベルが高くて種類が豊富だし、ショッピングモールが近くて買い物にも便利。国道があつてアクセスもいい」3人の娘の子育てのかたわら、社会教育団体『おいらせもりのようちえん』を設立したのは、定住を決めた4年後のことです。コンセプトは「自然の中で子どもの生きる力を育てる」。

「もともと夫婦揃って登山やカヌーが好きだったんですが、子どもが生まれてなかなか行けなくなつて。そんなとき子連れで散歩に出かけたら、『なんだ、家の近くにも自然がいっぱいあるじゃん』と。植物や鳥の種類が豊富だし、奥入瀬川の河口付近は流れがゆるやかで初心者のカヌーにぴったり。誰もが気軽に遊べる場がたくさんある。でも、地元でその魅力が知られていなかったりして…もったいないなと。自然の楽しみ方をもっともっと広めていければ」と、設立の理由を話します。北海道在住時は「雪山でハードな状況になればなるほど燃える(笑)」タイプだったのが、移住後は穏やかな里山の魅力を感じるようになったとか。

団体名を冠した親子向けイベントを定期的に開催するようになると、町内はもちろん、八戸市や三沢市などからも親子連れが集まるようになりました。



自然体験イベントでカイコの幼虫に興味津々の子どもたち



子どもの自主性を尊重する自然体験イベント



北海道在住時に没頭したロッククライミング

名前	中平 将義さん Masayoshi Nakadai	移住先	新郷村
職業	にんにく・米農家	移住歴	12年目(Uターン)
7	1982年生まれ。三本木農業高校卒業後、ロックミュージシャンを目指して上京するも、クラブミュージックに目覚めDJ活動をスタート。CM音楽制作やイベント主催を手がける。Uターン後も青森県内のクラブなどを舞台に活動を継続。2017年、同級生らとともに新郷村初の音楽イベント「村魂祭(そんこんさい)」を開催。	移住する前の居住地	東京都
		出身地	新郷村

DJ農家、我が道を行く。 8時〜17時が“定時”

水田とにんにく畑を合わせて東京ドーム1個以上の農地。両親と妻がいるとはいえ、作業が大変なのでは?と思いきや、「全然。農家は拘束時間が長いイメージがあるけど、僕はふつうに8時〜17時で帰ります」

中平将義さんは新郷村で生まれ育ち、高校卒業後に上京。都内を中心にDJとして活躍していました。家庭の事情でUターンし就農後は、重労働の草刈りを最低限に抑え、販売ルートも独自に開拓するなど、独自で効率的な方法を実践。

「色々言われますよ。一般的な農家の1/3くらいしか働いてないから。でも僕は早く帰って息子とサッカーしたい(笑)」と、我が道を買っています。

「我が道」といえば、中平さんはほとんどSNSを使いません。以前はSNSをフル活用し人脈を築いていましたが、Uターン以降「オフラインパワーのすごさを実感した」のが、SNSを離れた理由です。

「どこに住むかより誰といるか」 ディープな村民が魅力の新郷

友だちの友だちは友だち。そんな「オフライン」つながりから始まったイベントが、今や村の名物です。2017年から開催中の音楽フェス「村魂祭(そんこんさい)」。会場の「間木の平グリーンパーク」はもともとキャンプ場で、場内どこでもテント設置OK。ロック・民族音楽・朗読まで多彩なパフォーマンスをゆっくり楽しめるほか、飲食ブースでは「極甘」と評判のとうもろこ

し「郷のきみ」など、村の特産品も味わえます。

同フェスは看板作りから出演者の選定、駐車場の交通整理まで中平さんと仲間の手作り。特産品販売に携わる友人、カフェ経営の同級生、その知人のりんご農家…と次々に縁がつながり、開催が実現しました。初年度200人だった来場者は翌年、500人に。地域振興に貢献している同フェスですが、中平さんは「地域のため? 考えてないですよ(笑)。自分たちで楽しんだら、人は勝手に集まってくると思うので」

10月末〜4月までは農家の仕事は完全オフ。フェスを終えると旅行に行き、八戸市内でDJをして過ごすという中平さん。友人と家族ぐるみでキャンプやバーベキューをし、農村ならではの「リア充」ライフを満喫しています。しかしそれは、あくまでもUターンだからでは?

そんな疑問をぶつけると、「どこに住むにしても変わらないんじゃないかな。どこに住むかより、誰といるかが大事なんであつて。肌に合う人を見つめるには自分から一歩踏み出さないと。ただ1つ言えるのは、新郷村は面白いヤツがめっちゃ多い!」

『キリストの墓』に『ピラミッド』。新郷村の村民性は、村の名所のインパクトに劣らずディープなようです。



友人らと企画した音楽イベント「村魂祭(そんこんさい)」

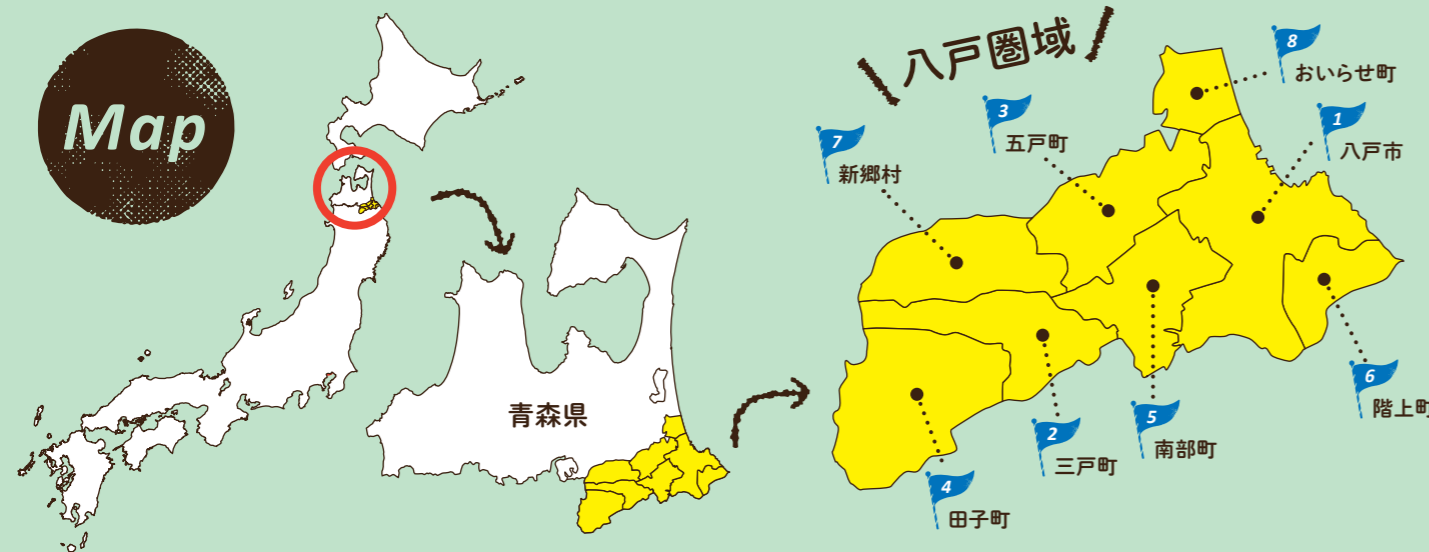


趣味で県内のクラブでDJを楽しむ



自慢のにんにく畑

Map



見どころや移住支援制度などについてご紹介いたします！

八戸圏域 8市町村 のご紹介

「I」から農業まで多様な産業が発達。仕事・子育て…目指すライフスタイルに合わせて住むエリアを選ぼう。

古くから同じ南部領として共通の文化を持ち、ともに歩んできた八戸都市圏の8市町村。人口約23万人を抱える八戸市を中心に水産業・工業・商業から農林畜産業、近年では「I」関連まで、多様な産業が発達してきました。だから、幅広い業種の中から自分に合った仕事を探すことができます。

また婚活サポートや子どもの医療費助成など、ライフステージの変化に合わせたサポートも充実。気になる行政サービスを見つけたら、ぜひ移住相談窓口までお問い合わせください。

※各自治体ごとに問い合わせ先が異なります。

主な
移住・定住
支援制度

	おいらせ町	新郷村	階上町	南部町	田子町	五戸町	三戸町	八戸市	
仕事	就職支援	●	—	●	—	●	●	●	就職支援
	起業支援	—	—	—	●	●	●	●	起業支援
	独自の就農支援(農業支援)	—	—	—	●	●	—	—	独自の就農支援(農業支援)
	その他	—	—	—	—	◎定住移住促進通勤支援事業	◎ものづくり事業費補助金制度 ◎青年就農ステップアップ事業	◎お試しサテライトオフィス	◎交通費・引越し費用の助成
住宅	空き家バンク	●	—	●	●	●	●	●	空き家バンク
	お試し住宅	—	—	—	●	—	●	—	お試し住宅
	定住促進住宅	—	●	—	—	—	—	●	定住促進住宅
	住宅取得支援	●	—	●	●	●	●	●	住宅取得支援
	増改築支援	●	—	●	●	●	—	●	増改築支援
その他	—	—	◎耐震診断・改修支援 ◎駅前中央団地分譲	◎合併処理浄化槽設置事業 ◎宅地分譲(チェリータウン校場等)	◎若者定住移住促進住宅料 助成金支援事業	◎子育てアパート等入居費 助成事業	◎住宅及びブロック塀の 耐震診断・改修支援 ◎民間賃貸住宅家賃助成事業 ◎合併処理浄化槽設置事業	◎耐震診断・改修支援 ◎合併処理浄化槽設置事業	その他
結婚	結婚祝い金	—	—	—	—	●	—	—	結婚祝い金
	婚活支援	◎婚活イベント実行委員会による 婚活イベント	◎婚活イベント	—	—	◎同窓会等支援事業	◎縁結びサポート事業	◎はちのへ縁結びプロジェクト	婚活支援
	その他	—	—	—	—	◎縁結びプランナー登録 ◎縁結び報奨金	—	◎縁結び志隊	その他
子育て	出産祝い金	—	●	—	—	●	●	—	出産祝い金
	医療費助成	●	●	●	●	●	●	●	医療費助成
	保育料減免	●	●	●	●	●	●	●	保育料減免
	支援・相談	◎子ども健康相談・母乳相談・ 栄養相談 ◎地域子育て支援センター ◎奨学資金貸与 ◎医師就学資金貸与	◎地域子育て支援センター ◎乳幼児健康相談	◎地域子育て支援センター ◎奨学資金貸与制度 ◎奨学生ふるさと定住促進補助金	◎地域子育て支援センター ◎奨学資金貸与制度	◎奨学資金貸与 ◎就学援助(小・中学生) ◎入学祝い金(小・中学生・高校生) ◎中・高一貫教育推進 ◎地域包括支援センター ◎子育て定住移住支援室 ◎語学検定料支援事業	◎地域子育て支援センター ◎奨学資金貸与 ◎医師修学資金 ◎薬剤師修学資金	◎のぼたん広場 (子育て支援ネットゆりかご) ◎子育てサポート祝金 ◎奨学資金貸与 ◎資格取得支援(三戸高等学校)	◎地域子育て支援センター ◎ファミリーサポートセンター ◎奨学資金貸与・給付
交流・施設	◎放課後子ども教室(無料)	◎出張子育て相談(毎月1回)	◎放課後子ども教室	—	◎子育てサロン	—	◎のぼたん広場 ◎さんのへ農業小学校 ◎放課後子ども教室	◎子育てサロン ◎こどもはっち(つどいの広場)	交流・施設
その他	◎小・中学校給食費無償化事業 ◎病児保育 ◎放課後児童クラブ(無料) ◎ブックスタート ◎絵本の読み聞かせ	◎子ども商品券の給付 ◎小・中学校給食費無償化事業 ◎乳幼児の主食費(米代)助成 ◎絵本プレゼント ◎村営学習塾	◎ブックスタート ◎放課後児童クラブ ◎自分チャレンジ促進事業	◎小・中学校給食費無償化事業 ◎中学生海外派遣事業 ◎放課後児童クラブ ◎小学生国内交流事業 ◎子育て用品給付事業 (南部町びよすくーぼん)	◎ブックスタート・セカンドブック ◎中学生海外派遣事業 ◎延長保育無料 ◎英語塾実施事業 ◎保育園給食費軽減 ◎すくすく館(放課後児童クラブ)	◎多子世帯支援商品券発行事業 ◎中学生海外派遣 ◎海外研修支援事業 ◎放課後児童クラブ	◎絵本プレゼント ◎絵本の読み聞かせ ◎放課後児童クラブ ◎延長保育無料 ◎中学生海外派遣事業 ◎保育所等の子どもの副食費助成	◎病児・病後児保育 ◎八戸市ブックスタート事業 ◎マイブック推進事業 ◎放課後児童クラブ ◎青少年派遣交流事業	その他
その他	◎町民バス運行(未就学児無料) ◎インフルエンザ予防接種助成 (18歳以下、妊産婦、65歳以上)	◎村内無料コミュニティバス運行	◎コミュニティバス運行 (中学生以下無料) ◎インフルエンザ予防接種助成 (中学生以下)	◎コミュニティバス運行 (中学生以下無料) ◎インフルエンザ予防接種助成 (1~18歳)	◎コミュニティバス運行 (中学生以下無料) ◎インフルエンザ予防接種助成 (町民全員)	◎コミュニティバス運行 (中学生以下無料)	◎コミュニティバス運行 (中学生以下無料) ◎インフルエンザ予防接種助成 (1~18歳、65歳以上)	◎八戸ウェルカムチケット (施設無料利用券)	その他

くらしの情報

【人口】 226,477人
 【世帯数】 109,191世帯
 【面積】 305.56km²

【産業別就業人口割合】
 ●第1次産業 3.4%
 ●第2次産業 22.5%
 ●第3次産業 74.1%

【病院の数】
 ●病院 21
 ●診療所 171
 ●歯科医院 95

【子育て】
 ●保育所 18
 ●認定こども園 68
 ●幼稚園 13
 ●小学校 43
 ●中学校 26
 ●高等学校 13
 ●工業高等専門学校 1
 ●大学 3

【高齢者福祉施設】
 ●養護老人ホーム 1
 ●特別養護老人ホーム 12
 ●軽費老人ホーム(ケアハウス) 5
 ●介護支援センター 19
 ●生活支援ハウス(高齢者生活福祉センター) 2
 ●老人福祉センター 2
 ●老人いこいの家 5

【文化施設】
 ●図書館 3
 ●博物館・美術館(建設中) 3
 ●文化ホール 3
 ●公民館 24

【スポーツ施設】 33

【NPO法人】 60

【買い物】
 ●スーパー 多数
 ●コンビニ 多数
 ●ホームセンター 多数
 ●電器店 多数
 ●ドラッグストア・薬局 多数

【交通】
 ●路線バス 多数
 ●コミュニティバス あり
 ●デマンドタクシー あり

お問合せ先

八戸市 総合政策部
 広報統括課
 シティプロモーション推進室

青森県八戸市内丸一丁目1番1号
 TEL.0178-43-2319(直通)
 http://www.city.hachinohe.aomori.jp/

八戸駅から市庁までのアクセス

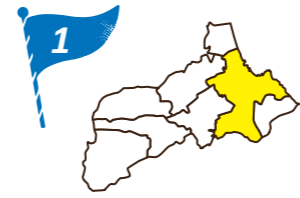
◎JR八戸駅より八戸線約10分、
 JR本八戸駅下車後、徒歩約9分



①ユネスコ無形文化遺産に登録された「八戸三社大祭」②青森県初のJリーグ参入を果たした「ヴァンラーレ八戸」
 ③全国的なジャズイベントとして成長した「南郷サマージャズフェスティバル」④約350店舗が並ぶ全国最大規模の「館鼻岸壁朝市」(3～12月)⑤B-1グランプリでゴールドグランプリを獲得し、話題となった「八戸せんべい汁」

いちおしポイント!!

- ① 変化に富んだ風光明媚な景観が広がる三陸復興国立公園の種差海岸は、多くの文芸家や芸術家を魅了し、その作品の舞台となっています。
- ② 当市を拠点とするスポーツチームに八戸市スポーツ大使として活動していただき、郷土への誇りや愛着を育んでいます。
- ③ 水揚げ量日本一を誇るイカや日本一脂のついていると評される「八戸前沖さば」など、新鮮な魚介類が豊富に揃います。
- ④ 今もたくさん銭湯があり、その半数以上は早朝から営業しているため、様々な泉質を朝風呂で満喫できます。



八戸市

はちのへし Hachinohe

ひと・産業・文化が輝く北の創造都市
 多彩な住み方・暮らし方が叶うまち



三陸復興国立公園に指定されている種差海岸。波打ち際まで天然の芝生が広がる

進化を続ける八戸市
 八戸藩2万石の城下町として発展してきた八戸市は、人口約23万を擁し、岩手県北も含めた約63万人の広域商圏の中心を担っています。
 平成29年1月には、全国48番目となる中核市(※)に移行しました。
魅力あふれる中心街
 百貨店や専門店、飲食店、オフィスなどが集まり、賑わいを見せています。平成30年には八戸まちなか広場「マチニワ」がオープンし、「八戸ブックセンター」や「はっち」とともにまちの魅力をさらに高めています。
 近年、再開発により新たな商業ビルの建設が進むほか、「氷都八戸」の象徴となる国際大会も開催可能な屋内スケート場が完成しました。

文化・スポーツの盛んなまち
 毎年、ユネスコ無形文化遺産に登録された「八戸三社大祭」や国重要無形民俗文化財「八戸えんぶり」といった伝統行事が行われているほか、「南郷サマージャズフェスティバル」には、全国から多くのファンが訪れています。
 また、アトで地域を盛り上げるため、「南郷アートプロジェクト」や「八戸工場大学」などのアートのまちづくりに取り組んでいます。
 アイスホッケーやサッカーのクラブチームの本拠地にもなっているなど、スポーツの盛んな都市でもあります。
 ※中核市：政令都市に次ぐ権限を持ち、行政サービスの効率化や迅速化により、きめ細かな市民サービスの提供が可能となります。

主な定住支援制度

住まい

●中心市街地内における定住を促進するため、**住宅の取得、増改築等をする方に対して補助金を支給**します。申請者を含む2名以上の居住が必要です。増改築等の場合は、居住者が2名以上増加することが必要です。

仕事

●円滑なUターン就職を支援することを目的に、**Uターン就職希望者登録制度**を実施するほか、Uターン就職希望者には就職活動にかかる交通費や就職決定後の引越し費用等の一部を助成します。**はちのへジョブ市場**(ウェブサイト)で、**求人・求職のマッチング**や企業間のビジネス交流促進に関する情報を総合的に提供しています。
 ●**はちのへ創業・事業承継サポートセンター**は創業と事業承継の総合相談窓口です。事業の構想から開業後のフォローまでワンストップで支援します。
 ●**新規就農者(原則50歳未満)**に対しては、農業を始めてから経営が安定するまでの間、**国の農業次世代人材投資資金を支給**しています(最大150万円/年、最長5年間)。

子育て

●**第3子以降の保育料を国の基準額から軽減**するとともに、**延長保育や休日保育、病児・病後児保育等**を実施しています。
 ●高校生に該当する年齢までの子どもを対象に、**中学生までは通院・入院、高校生に該当する年齢の子どもは入院の医療費を助成**しています(所得制限あり)
 ●両親が共働き等で、**屋間家に誰もいない家庭の小学生が、放課後から夕方まで過ごす放課後児童クラブを実施**しています。
 ●八戸ポータルミュージアムはっち内に**就学前児童なら誰でも利用できる「こどもはっち」**を開設しています。
 ●**「本のまち八戸」**をキャッチフレーズに、**乳幼児への絵本のプレゼントや小学生へのブックターボンの配布**を行っています。



くらしの情報

【人口】 9,798人
 【世帯数】 4,259世帯
 【面積】 151.79km²

【産業別就業人口割合】
 ● 第1次産業 31.2%
 ● 第2次産業 19.1%
 ● 第3次産業 49.7%

【病院の数】
 ● 病院 1
 ● 診療所 1
 ● 歯科医院 3

【子育て】
 ● 保育所 1
 ● 認定こども園 2
 ● 児童館 2
 ● 小学校 3
 ● 中学校 2
 ● 高等学校 1

【高齢者福祉施設】
 ● 特別養護老人ホーム 1
 ● 介護老人保健施設 1
 ● 老人福祉センター 1
 ● グループホーム 3
 ● 有料老人ホーム 2

【文化施設】
 ● 図書館 1
 ● 博物館・美術館 1
 ● 公民館 1

【スポーツ施設】 7

【NPO法人】 3

【買い物】
 ● スーパー 2
 ● コンビニ 5
 ● ホームセンター 2
 ● 電器店 3
 ● ドラッグストア・薬局 7

【交通】
 ● 路線バス 11
 ● コミュニティバス あり

お問い合わせ先

三戸町 まちづくり推進課

青森県三戸郡三戸町大字在府小路町43
 TEL.0179-20-1111 (代表)
 http://www.town.sannohe.aomori.jp/

八戸駅から役場までのアクセス

- JR八戸駅より車で約45分
- JR八戸駅より青い森鉄道で約20分、三戸駅下車後、車で約8分



①美しい桜が咲き誇る県南随一の桜の名所城山公園で行われる「さんのへ春まつり」②手作り人形山車が見ものの「さんのへ秋まつり」③粉物文化の象徴の三戸せんべい④豊かな自然に囲まれる町⑤馬場のぼるさんの絵本「11びきのねこ」によるまちづくり

いちおしポイント!!

- ① 三戸城跡のある城山公園を中心に、歴史と文化の薫るまちです。
- ② 絵本『11びきのねこ』の作者である馬場のぼるさんの生まれ故郷です。
- ③ 「春まつり」「夏まつり」「秋まつり」「三戸名物元祖まける日」など、四季折々のイベントがあります。
- ④ 三戸せんべいやひつまみ、串もちにきんかもちなどのおいしい粉物がたくさんあります。
- ⑤ 農業が基幹産業で、産直で新鮮＆おいしい野菜や果物を安く買うことができます。



〈プロフィール〉
 1927年三戸町に生まれ、幼少の頃から絵を描くのが好きだった馬場のぼるさんは1949年に小学館の学年誌でデビューしました。

主な定住支援制度

住まい

●新築住宅取得費用(町在住者最大62.5万円、移住者最大250万円)と中古住宅取得・リフォーム費用(町在住者最大20万円、移住者最大75万円)を助成しているほか、要件を満たす人へ民間賃貸住宅の家賃を一部助成しています。また、旧耐震基準の木造住宅及びブロック塀を対象に耐震診断を支援し、要件に該当する場合、改修工事の一部を助成しています。また、排水設備新設工事やくみ取り便所、浄化槽から下水道に接続する改修工事とその付帯工事に助成金を支給しています。

仕事

●農業を始めて経営が安定するまでの間、新規就農者(原則50歳未満)に対して、国の農業次世代人材投資資金を支給しています(最大150万円/年、最長5年間)。また、県の融資制度を利用する創業者へ信用保証料を助成します。
 ●定住就職奨励金(町外出身者で町に定住の意思を持ち、町内に就職した時)と、Uターン就職奨励金(町出身で町外に住んでいた方が、町内に就職した時)を支給しています。

子育て

●子育て世帯の負担を軽減するために、第3子以降の出産に対して、最大50万円の祝金を交付及び、保育料を第2子は半額、第3子以降は無料としています。また、安心して必要な医療を受けられるようにするため、0歳から高校生までの入院・通院医療費を助成しています(所得制限なし)。

福祉・その他

●在宅要件を満たす介護者へ月額5,000円の家族介護支援金を支給しています。また、月額6,500円分の家族介護用品を支給しています。
 ●町内区間運賃が100円、中学生以下は無料で乗車できるコミュニティバスを運行しています。



三戸町

さんのへまち Sannohe

豊かな自然に囲まれた
 歴史ある城下町さんのへ



城山公園の歴史民俗資料館(左)と温故館(右)

戦国最後の居城跡

三戸南部家24代南部晴政によって築かれた三戸城跡は、町中心街を眼下に望む標高約130mの城山公園になっていきます。1600本の桜がある県南随一の花見の名所でもあり、今も昔も町民の『心ふるさと』として愛されています。

11びきのねこのふるさと

三戸町は、人気絵本『11びきのねこ』シリーズの作者・馬場のぼる先生が生まれた育った町で、豊かな自然が残る野山が広がり、作品の素材となるものが、そこかしこに溢れています。

町では、馬場先生の偉業に感謝し、『11びきのねこ』を活用したまちづくりを進めています。町を歩くと11びきのねこの石像やラッピングバス、街灯フラッグ、各商店の店頭幕など、さまざまなお店で見られます。かわいらしいねこたちに会うことができます。

最近では、青い森鉄道といわて銀河鉄道の路線(青森〜盛岡間)をほっこり楽し『11びきのねこラッピングトレイン』が

豊かな心を育む小中一貫教育

まちづくりの原点である町民憲章の一つに『教育の町』を掲げ、ユニークな施策を展開しています。一つは『小中一貫教育』で、それぞれの発達段階に応じたきめ細かな教育を行っています。様々な行事を小中合同で行うことを通じて、思いやりの心や尊敬の念を育んでいます。

次世代へ繋ぐ農業支援

基幹産業である農業を次世代へ受け継ぐため、『さんのへ農業小学校』を開校するとともに、『グリーン・ツーリズム』に力を入れています。



栽培が盛んなりんご



くらしの情報

【人口】 16,855人
 【世帯数】 7,029世帯
 【面積】 177.67km²

【産業別就業人口割合】
 ● 第1次産業 23.0%
 ● 第2次産業 26.0%
 ● 第3次産業 51.0%

【病院の数】
 ● 病院 1
 ● 診療所 3
 ● 歯科医院 7

【子育て】
 ● 認定こども園 5
 ● 幼稚園 2
 ● 小学校 4
 ● 中学校 3
 ● 高等学校 1
 ● 専門学校 1

【高齢者福祉施設】
 ● 特別養護老人ホーム 4
 ● 老人(在宅)介護支援センター 3
 ● デイサービスセンター 6
 ● グループホーム 3
 ● 有料老人ホーム 4

【文化施設】
 ● 図書館 1
 ● 公民館 1
 ● 歴史民俗資料館 1

【スポーツ施設】 2

【買い物】
 ● スーパー 2
 ● コンビニ 7
 ● ホームセンター 2
 ● 電気店 3
 ● ドラッグストア・薬局 7

【交通】
 ● 路線バス 5
 ● コミュニティバス あり



①五戸町は馬産地として有名 ②四季を通じて様々な農業体験ができる「このへグリーン・ツーリズム」 ③毎月7の付く日に開かれる「まちな日(市日)」には買い物客で賑わう ④約300種10万株のチューリップが咲き誇る「正子のチューリップ園」(4月末～5月中旬) ⑤大空を泳ぐこいのぼり(桜沼公園 4月下旬～5月中旬)

いちおしポイント!!

- ① 五戸町のキャッチフレーズの一つに『3Sの町』があります。坂・桜肉(馬肉)・サッカーの3つのSです。
- ② 五戸代官所をはじめ、重要文化財の江渡家住宅、県重宝の旧圓子家住宅など、江戸時代からの古い建造物があります。
- ③ 絢爛豪華な歴史絵巻を繰り広げる「五戸まつり」は、急坂での山車引きで知られます。
- ④ 五戸まきば温泉・五戸温泉(たんぼのゆっこ)・倉石温泉と、3つも温泉があります。
- ⑤ 五戸を代表する「このへ三大肉(馬肉、倉石牛、青森シャモロック)」は町内飲食店で召し上がれます。



五戸町

このへまち Gonohe

—北国に生きる、自然と寄り添う—
 「自分らしさ」を大切にする 五戸のくらし



10万冊以上の蔵書がある「五戸町図書館」と「五戸代官所」のある歴史みらいパーク

馬とともに暮らすまち
 五戸には江戸時代に藩営牧野・南部九牧の二つ「又重野の牧」があつて「駒袋」という地名が現存し、古くから「馬のまち」でした。その名残として今も「博労町(ぼくろうまち)」の町名や、「馬肉鍋」が伝えられています。

サッカー日本一のまち
 五戸町は「サッカーのまち」としても知られています。県立五戸高校サッカー部は全国大会出場常連校だった歴史を有し、町役場サッカー部は全国自治体職員サッカー選手権で4連覇、町に「サッカー日本一」の称号をもたりました。オリンピック日本代表の監督を務めた手倉森誠氏や横浜FC監督の下平隆宏氏も五戸出身です。

農畜産業が盛んなまち
 基幹産業は農畜産業。倉石地区は青森県を代表する高級和牛「あおもり倉石牛」と特産品のリンゴ「紅玉」で知られます。倉石牛は全国肉用牛枝肉共励会で最高位

の名誉に輝いたブランド牛です。ながいも、にんにく、アピオスや雑穀も特産品で、それらを使用した駄菓子や南部せんべいがあり、早くから6次産業化に取り組んでいます。また、「青森このへグリーン・ツーリズム」の活動も活発で、四季を通じて約15の体験メニューが楽しめます。

暮らすみんなが輝くまち
 郷土の食文化を次代に継承しようと活動している「博労町老人クラブいろり会」をはじめ、56の文化活動団体、20の体育活動団体が活動する、「暮らすみんなが輝くまち」でもあります。

近年は「桜沼のこいのぼり」で知られる上市川地区の新しい団地に、町内外から移り住んだ子育て世代の家族による新しいコミュニティが誕生し、新旧住民が交流して「上市川夏祭り」を復活させて持続可能な地域活動を展開しています。

主な定住支援制度

住まい

●「子育てアパート等入居費助成事業」や「空き家バンク」により、都市部の住民との交流拡大や定住促進を図っています。

仕事

●農業次世代人材投資事業として、農業を始めてから経営が安定するまでの間、新規就農者(原則50歳未満)に対して国の資金を交付しています(最大150万円/年、最長5年間)。また、青年就農ステップアップ支援事業として(経営開始日時点で50歳未満、かつ、経営開始後8年以内)認定新規就農者または認定農業者に対し、支援金を最長3年間(1年目:60万円、2年目:30万円、3年目:18万円(夫婦の場合は1.5倍の額)交付しています。

子育て

●出産祝金や多子世帯に商品券を支給し、子育て家庭の経済的な負担を軽減しています。また、乳幼児等医療費給付事業として、中学校卒業までの児童を対象に、就学前児童は通院・入院、小・中学生は入院の医療費を助成しています(所得制限あり)。

●地域子育て支援センター事業として、子育て家庭に関する育児不安等についての相談や指導、子育てサークルへの支援を行っています。また、保護者が就労等により昼間家庭にいない児童(おおむね10歳未満)を対象に、適切な遊びや生活の場を与えて健全な育成を図る放課後児童健全育成事業を行っています。

●五戸町子育てメイト連絡協議会が毎年、七夕やクリスマス、ひな祭りに合わせて親子で参加できるイベントを開催し、子育て世代をサポートしています。

その他

●町内区間運賃が100円、中学生以下は無料で乗車できるコミュニティバスを運行しています。



お問合せ先

五戸町 総合政策課

青森県三戸郡五戸町字古館21-1
 TEL.0178-62-7952(直通)
 http://www.town.gonohe.aomori.jp/

八戸駅から役場までのアクセス

◎JR八戸駅よりバスで40分
 ◎JR八戸駅より車で20分

くらしの情報

【人口】 5,334人
 【世帯数】 2,143世帯
 【面積】 242.10km²

【産業別就業人口割合】
 ●第1次産業 36.7%
 ●第2次産業 23.7%
 ●第3次産業 39.6%

【病院の数】
 ●診療所 2
 ●歯科医院 2

【子育て】
 ●保育所 2
 ●幼稚園 1
 ●小学校 3
 ●中学校 1
 ●高等学校 1

【高齢者福祉施設】
 ●特別養護老人ホーム 1
 ●生活支援ハウス (高齢者生活福祉センター) 1
 ●老人福祉センター 1
 ●グループホーム 4
 ●介護老人保健施設 1

【文化施設】
 ●図書館 1
 ●文化ホール 1
 ●公民館 2

【スポーツ施設】 1

【買い物】
 ●スーパー 2
 ●コンビニ 1
 ●ホームセンター 2
 ●電器店 3
 ●ドラッグストア・薬局 3

【交通】
 ●路線バス 1
 ●コミュニティバス あり



①100年以上前の茅葺き家で、手作り体験「タブコブ創造村」②高さ約30m幅約20mの雄大な「みろくの滝」別名「スヌーピーの滝」③にんにく情報発信基地「田子町ガーリックセンター」。田子町のヒット商品が全て揃う、にんにくづくしのショップ・レストラン④毎年1万人の人が田子牛とたっこにんにくを求めてやってくる「にんにくとべごまつり」⑤田子高校生が踊る「ナニヤドヤラ」は、東京・神楽坂でも披露

いちおしポイント!!

- ① 日本で唯一、にんにくづくしの「ガーリックセンター」があり、「ガーリックステキごはん」が大人気。
- ② ヤマツツジの群生で知られる「大黒森」や、地域の守護神伝説が伝えられる「みろくの滝」があります。
- ③ 特産のにんにくと黒毛和種の田子牛を「パーベキュー」で味わえる食の祭典「にんにくとべごまつり」は町最大のイベントです。
- ④ 昔遊びと手づくりのテーマパーク「タブコブ創造村」で、様々な体験ができます。
- ⑤ 県無形民俗文化財指定の「田子神楽」ほか、多くの伝統芸能が伝えられています。県立田子高校にはめずらしい「郷土芸能部」があります。



田子町

たっこまち Takko

豊かな自然に恵まれた、国際色豊かなにんにくの町たっこ



6月下旬から7月上旬に収穫される、ブランドたっこにんにく

蒼い夜空が見える場所
 「田子(たっこ)」という地名の由来については諸説ありますが、この地の先住民であるアイヌ人の言葉で「小高い丘(住みやすい所)」を意味する「タブコブ」からきているという説が最も有力です。このほかにも田子町には、アイヌ語に起源を持つと思われる地名がいくつか残っています。環境省の夏全国星空継続観察で星空日本一に選ばれたこともある美しい星空や、水源の森100選に選ばれた大黒森からの豊富な湧き水100%の飲用水のほか、国内最高級と評されるにんにくや、豊かな自然で飼育された田子牛などの特産品が魅力です。

世界に開かれたまち
 世界に開かれたまちを目指して、アメリカ合衆国のギリロイ市、大韓民国の瑞山市、イタリアのモンティチェリ・ドンジーナ町と姉妹都市提携をしています。特に、アメリカギリロイ市とは、英語指導助手の受け入れを通じ、町民の国際感覚を高めています。



発売から5年で29万本販売の大ヒット商品、にんにく×コーラ「ジャッツタッコラ」

また、町民には外国語検定試験(英語・韓国語等)を受検する検定料を全額助成しています。

品質日本一のたっこにんにく
 田子町の基幹産業は農業で、稲作・畑作・畜産の複合経営が主ですが、何といっても知名度抜群なのは「たっこにんにく」。作付面積・収穫量共に全国の約7割を占めるにんにく県・青森にあって、「たっこにんにく」は東北初の地域ブランド認定を受け、更に、たっこにんにくオリジナル品種「美六姫(みろくひめ)」を開発し、品質日本一の評価は揺るぎないものになっています。



A4・A5ランクの柔らかくジューシーな田子牛!

主な定住支援制度

住まい

●田舎暮らし体験として、町が借り上げる「移住体験住宅」を貸し出しています。
 ●転入者には家賃の一部(月額2万円)を最長3年間助成しています。また、住宅整備のための助成をしています。

仕事

●新規学卒者または50歳未満の町内在住の方で、町外の職場に1年以上勤務している方を対象に通勤費の一部(3万円)を助成しています。
 ●農業先進技術チャレンジ支援事業として、1件当たり15万円を上限に助成しているほか、新規就農者(原則50歳未満)に対して国の農業次世代人材投資資金(最大150万円/年、最長5年間)を支給します。

子育て

●保育料を国の基準額から3分の1軽減しています。また、延長保育を無料で利用できます。
 ●高校卒業までの医療費を全額助成しています。(一部所得制限あり)
 ●小学校、中学校及び高校に新入学する児童生徒を対象に、入学祝金を支給しています。
 ●子育てサロンを週2回参加費無料で実施しています。学童保育を3施設で実施しています。
 ●地元中学生は、3万円の自己負担で海外研修に参加する事ができます。

その他

●結婚祝い金支給事業として、婚姻1年以上に田子町に移住、その後1年定住された夫婦1組あたり8万円を支給しています。お子さんが生まれた場合等、1人当たり4万円の加算金があります。

お問合せ先

田子町 住民課 子育て定住移住支援室

青森県三戸郡田子町大字田子字天神堂平81
 TEL.0179-23-0678 (直通)
 http://www.town.takko.lg.jp/

八戸駅から役場までのアクセス

- ◎八戸駅より車で約50分
- ◎JR八戸駅より青い森鉄道で約20分、三戸駅下車後、車で約25分

二戸駅(岩手県)から役場までのアクセス

◎JR二戸駅より車で約40分

くらしの情報

【人口】 17,736人
 【世帯数】 7,454世帯
 【面積】 153.12km²

【産業別就業人口割合】
 ● 第1次産業 25.3%
 ● 第2次産業 21.9%
 ● 第3次産業 52.8%

【病院の数】
 ● 病院 2
 ● 診療所 7
 ● 歯科医院 5

【子育て】
 ● 保育所 3
 ● 幼稚園 1
 ● 小学校 8
 ● 中学校 4
 ● 高等学校 1

【高齢者福祉施設】
 ● 特別養護老人ホーム 3
 ● 老人(在宅)介護支援センター 4
 ● 老人福祉センター 3

【文化施設】
 ● 文化ホール 2
 ● 公民館 6

【スポーツ施設】 9

【NPO法人】 6

【買い物】
 ● スーパー 3
 ● コンビニ 5
 ● ホームセンター 4
 ● 電器店 6
 ● ドラッグストア・薬局 10

【交通】
 ● 路線バス 2
 ● コミュニティバス あり
 (バス4・多目的バス5)



①四季を通じて楽しめるフルーツ狩り ②水と遊びながら健康づくりができる健康増進施設「バーデハウスふくち」
 ③桃山様式による華麗な霊廟建築「南部利康霊屋」(国指定重要文化財) ④国重要無形民俗文化財に指定されている「南部地方えんぶり」 ⑤山車のステージで南部手踊りが披露される「名川秋まつり」

いちおしポイント!!

- ① 町章にも象られた名久井岳と馬淵川の流れが自慢の自然です。
- ② 国史跡聖壽寺館跡など南部氏関連遺跡や、国指定重要文化財の南部利康霊屋、鎌倉執権・北条時頼公が創建した法光寺があります。
- ③ 健康増進施設「バーデハウスふくち」や総合レジャー施設「名川チェリン村」が利用できます。
- ④ 華やかな稚児行列や南部手踊りなどが披露される「南部町春まつり」のほか、たくさんの祭り・イベントがあります。
- ⑤ 究極のグリーン・ツーリズムを目指す達者村の活動が展開されています。



南部町

なんぶちょう Nanbu

フルーツの香り漂う感動のまち
 グリーン・ツーリズムを核とした交流のまち



町のシンボル名久井岳と馬淵川

山河に抱かれた歴史情緒あふれるまち
 町の南西部には標高615mの名久井岳を望み、中央部を流れる馬淵川流域には田園風景が広がる、豊かな自然に恵まれた美しい町です。
 南部町は、南部藩発祥の地といわれ、南部氏が三戸城、九戸(福岡)城、盛岡城に移るまでの約350年にわたり、ここを拠点に南部地方を支配したとされています。
 南部氏本宗家の室町時代から戦国時代の中心的城館となる国史跡聖壽寺館跡は、町民の誇りとして親しまれています。平成26年9月24日に、2羽の鶴が向かい合った「向鶴」が彫られた青銅製の金具が出土したことで、南部氏家紋のルーツかと注目されました。

県内有数のフルーツ産地

主な産業は農業で、さくらんぼ、りんご、もも、なしなど、様々な種類の果物が年間を通じて収穫され、県内でも有数のフルーツの産地となっています。高級

バーチャル・ビレッジ「達者村」

南部町ではこれらの特色あふれる地域資源を生かして、来訪者と住民の交流を深め、将来的な長期滞在、定住へとつながっていく究極のグリーン・ツーリズムの実現を目指して、「達者村」事業に町をあげて取り組んでいます。近年では海外からの誘客を目指して国際グリーン・ツーリズムも推進しています。

毎月22日は鍋の日

ユニークな施策に、平成24年度に制定した「笑顔あふれる明るいコミュニケーション推進条例(通称「鍋条例」)」があります。これは毎月22日を「鍋の日」として町民に鍋を囲んでもらい、家族や友人とのコミュニケーションを深めてもらうことを目的としています。

東北一の高さを誇る三重の塔(法光寺)



主な定住支援制度

住まい

- 個人住宅を新築又はリフォームする方に対して、その費用の一部を助成しています(町外の方でも南部町に新築する場合は対象となります)。
- 公共下水道事業計画の予定処理区域外等において、生活雑排水と、し尿を併せて処理する合併浄化槽を家庭で設置する場合に経費の一部を助成しています。
- 空き家・空き地バンクを開設し、町内の物件及び利用希望者を登録して、情報提供を行っています。

仕事

- 新たな農業の担い手を確保することにより、主要産業である農業の振興・活性化を図るため、新規就農者に対して国の農業次世代人材投資資金(原則50歳未満、最大150万円/年、最長5年間)又は町の新規就農者支援補助金(65歳未満、最大36万円/年、最長3年間)を支給しています。

子育て

- 高校卒業までの医療費の一部又は全部を助成しています(所得制限あり)。
- 小・中学校給食費無償化事業として、南部町に住所を有し、現に居住している児童・生徒の保護者に学校給食費を助成しています。

福祉・その他

- 南部町が運営している多目的バスは、町内全域で1乗車100円での利用が可能です。また、名川地区を運行するなんぶバスも1乗車100円での利用が可能です(いずれも中学生以下は無料)。
- 保健・医療・福祉の包括ケアの拠点「南部町医療健康センター」があります。

お問い合わせ先

南部町 交流推進課

青森県三戸郡南部町大字吉米地字下宿23-1
 TEL.0178-84-2123 (直通)
 http://www.town.aomori-nanbu.lg.jp/

八戸駅から役場までのアクセス

- ◎ JR八戸駅より車で約15分
- ◎ JR八戸駅より青い森鉄道で約10分、吉米地駅下車後、徒歩約10分

くらしの情報

【人口】 13,328人
 【世帯数】 5,986世帯
 【面積】 94.01km²

【産業別就業人口割合】
 ● 第1次産業 8.9%
 ● 第2次産業 30.9%
 ● 第3次産業 60.2%

【病院の数】
 ● 診療所 2
 ● 歯科医院 3

【子育て】
 ● 保育所 1
 ● 認定こども園 3
 ● 小学校 6
 ● 中学校 2

【高齢者福祉施設】
 ● 特別養護老人ホーム 1
 ● 有料老人ホーム 8
 ● グループホーム 5

【文化施設】
 ● 図書館 3
 ● 公民館 1
 ● 民俗資料収集館 1

【スポーツ施設】 5

【NPO法人】 6

【買い物】
 ● スーパー 1
 ● コンビニ 5
 ● ホームセンター 2
 ● 電器店 3
 ● ドラッグストア・薬局 4

【交通】
 ● 路線バス 5
 ● コミュニティバス あり



①人気の巨木巡りツアー ②みちのく潮風トレイルのルート沿いにある泊川神社の裏から絶景を見る ③町の特産品を販売している『道の駅はしかみ』 ④町のルーツの寺下観音 ⑤町の魚介類を販売している『はしかみハマの駅 ありでい〜ば』

いちおしポイント!!

- ① 階上岳・階上海岸は三陸復興国立公園に指定され、それらを経由する33kmは、みちのく潮風トレイルに認定されています。
- ② 国内や県内最大級の巨木が20本以上も集まる巨木の郷です。
- ③ ブランドの「階上早生階上そば」や「元祖いちご煮」で有名です。
- ④ 奥州南部糠部三十三観音一番札所の寺下観音が見所です。
- ⑤ 「いちご煮祭り」や「新そば祭り」「えんぶり」など楽しい祭りがたくさんあります。



銀杏木窪の大銀杏。推定樹齢千年。国内最大級。



階上町

はしかみちょう Hashikami

青森県内で最も早く朝日が昇る光なす町、階上町
 山海の自然と食文化、人の温かさが自慢



階上灯台が立つ小舟渡海岸廿一平から見た朝日。元旦にはご来光を拝むため多くの人を訪れる。

階上町で歩く・見る・遊ぶ
 階上町は、東に太平洋、北西に八戸市、南に階上岳が立地し、岩手県との県境に位置する町です。
 登山やウォーキングの人气が高く、全国から階上岳登山やロングトレイルを歩くとお客様が増えています。歩いて土地の音や香りを感じ、小発見の連続です。
 また、国・県内最大級の「巨木」が点在し、「巨木の郷」と呼ばれています。その多くが住宅地にあり、行き易さが魅力です。何百年も生き続けた木が持つパワーを体感することができます。

山海の宝を食す
 階上町の食材は、山海の幸、平地で栽培される野菜や穀物、どれも新鮮で質が高いです。階上早生階上そばは、青森県唯一の奨励品種で、粘りが強く風味高いと評判です。新鮮野菜や魚介類は、農家や漁師が、産直施設に搬入。階上町の代表的な料理であるウニとアワビの潮汁「元祖いちご煮」は、このような食文化から生まれた伝統料理です。

ハマ・ヒト・モノが触れ合う町
 階上町の浜の魅力の一つに、前沖で獲れた新鮮な魚介類が挙げられます。平成30年にオープンした「はしかみハマの駅」あるでい〜ばには、地元漁師が水揚げした新鮮な魚介類、そして、それを加工した商品が所狭しと並んでいます。
 また、浜通りには「浜の魚屋さん」が点在し、漁村だから手に入る珍しい商品が販売されています。
 遊漁の町としても知られ、地元釣具店が釣り船を手配してくれるので気軽に船釣りを楽しむことができます。夏場は、岸壁や岩場で磯釣りを楽しむ光景がよく見られ、町の風物詩とも言えます。
 最近では観光漁業に着手し、大人子どもを問わず、漁業を肌で感じる事ができる体験も行っていきます。また、船釣り体験やウニ獲り・フノリ採り体験などの体験学習に積極的に取組んでいる小学校もあります。
 浜と密接に結びつきながら発展してきた漁村の暮らしぶりは、その風情とともにそのままの姿を今に残しています。

主な定住支援制度

住まい

- 町内に新築住宅を取得する方を対象に、**最大110万円の補助金**を交付しています。
- 駅前中央団地の土地をお求めやすい価格で分譲しています。さらに、**5年以内に新築する方や、若年夫婦世帯、子育て世帯の方には助成を拡大**しています。
- 空き家バンクに登録された町内の空き家について、情報提供を行っています。また、登録物件の所有者又は本町への移住を目的とする利用希望者に対し、**取引仲介手数料補助金(上限5万円)や成約奨励金(5万円)、利用移住者引越費用補助金(上限5万円)、家財道具等撤去費補助金(上限10万円)、住宅改修支援補助金(上限30万円)**を交付しています。

仕事

- 農業次世代人材投資事業として、農業を始めてから経営が安定するまでの間、**新規就農者に対して国の資金を交付**しています(最大150万円/年)、最長5年間)。

子育て

- 保育料を国の基準額より軽減するとともに、医療費給付事業として**中学校卒業までの通院・入院の医療費(保険診療分)を助成**しています(所得制限あり)
- 未就学児とその保護者を対象に、子育て親子の交流等を図るための拠点として**地域子育て支援センター**を開設。**未就園児の一時預かり事業**も実施しており、冠婚葬祭や短時間の就労、保護者のリフレッシュなどの場合にも利用可能です。



郷土料理のウニとアワビの潮汁「元祖いちご煮」

お問合せ先

階上町 総合政策課

青森県三戸郡階上町大字道仏字天当平1-87
 TEL.0178-88-2111 (代表)
 https://www.town.hashikami.lg.jp

八戸駅から役場までのアクセス

- ◎ JR八戸駅より八戸線約50分
階上駅下車、車で約10分
- ◎ JR八戸駅より車で40分

くらしの情報

【人口】 2,399人
 【世帯数】 922世帯
 【面積】 150.77km²

【産業別就業人口割合】
 ● 第1次産業 48.5%
 ● 第2次産業 17.3%
 ● 第3次産業 34.2%

【病院の数】
 ● 診療所 1

【子育て】
 ● 認定こども園 1
 ● 小学校 2
 ● 中学校 2

【高齢者福祉施設】
 ● 老人福祉センター 3

【文化施設】
 ● 公民館 3

【買い物】
 ● 道の駅産直施設 1

【交通】
 ● 路線バス 2
 ● コミュニティバス あり



① 毎年10月に開催される「新郷ふるさとまつり」② 定住促進住宅 ③ 心と体の癒し空間「新郷温泉館」④ 村の中心部を望む ⑤ 豊かな自然を生かした「きのこの里づくり」



新郷村

しんごうむら Shingo

美しい自然、謎めく歴史とロマン 癒しと神秘の里へようこそ



キリストの墓と盆踊り(ナニヤドヤラ)

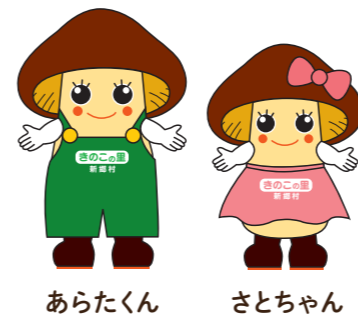
農業と融和の明るい村づくり
 新郷村は「農業と融和の明るい村づくり」を掲げ、県下一の有機資源センターを活用した「土作り」運動(有機の里づくり)、高齢者の生きがい対策を目的に始まった「きのこの里づくり」事業、新作物「自然薯」「郷のきみ」の導入、県内の自治体では初の試みとなる「木の駅プロジェクト」をスタートさせるなど、積極的

酪農発祥の地「新郷村」
 新郷村は、青森県内3番目の標高を有する三ツ岳と大駒ヶ岳からなる戸来岳や、山の恵みが豊富な迷ヶ平などに囲まれた山村です。
 昭和8年(1933年)に5名の農民によって酪農組合が組織され、「青森県酪農発祥の地」になりました。現在、その伝統を生かし、新郷村ふるさと活性化公社が商品開発した飲むヨーグルト・ザ・プレミアムはアジア最大級の国際食品・飲料展「FOODEX・JAPAN」において金賞、バジリアイスが最高金賞を受賞するなど質の高さを証明しています。

に攻めの農林業を展開しています。

きのこの里日本一・長寿日本一を目指して

新郷村では「新郷むらづくり実行委員会」を設置し、「きのこの里日本一・長寿日本一」を目指した地域づくりを行っています。また、キリストの墓や大石神ピラミッド、新郷温泉館などの地域資源を積極的に村外にPRするとともに、村の特産品を販売するイベントや、しんごうホワイトイルミネーション等々、様々な地域づくりに取り組んでいます。



あらたくん

さとちゃん



キリスト伝説を伝えるキリスト伝承館

いちおしポイント!!

- ① 村民から霊峰と尊崇される戸来岳には日本一のダケカンバがあります。
- ② 大石神ピラミッドや三嶽神社などのパワースポットがあります。
- ③ キリストの墓があり、キリスト祭では盆踊りの「ナニヤドヤラ」が奉納されます。
- ④ 「飲むヨーグルト」「生キャラ煎餅」「郷のきみ」などの特産品が知られています。



村自慢の乳製品

お問合せ先

新郷村 企画商工観光課

青森県三戸郡新郷村大字戸来字風呂前10
 TEL.0178-78-2111 (代表)
 http://www.vill.shingo.aomori.jp/

八戸駅から役場までのアクセス

©JR八戸駅より車で約50分

主な定住支援制度

住まい

● 新郷村定住促進住宅の入居者を募集しています。新たに村に住所を有しようとする夫婦、又は家族であり、世帯主が35歳以下の方が優先となります。

仕事

● 農業次世代人材投資事業として、農業を始めてから経営が安定するまでの間、新規就農者(原則50歳未満)に対して国の資金を交付しています(最大150万円/年、最長5年間)。

子育て

- 出産祝い金を支給しています。また、保育料を国の基準額から半額程度軽減しています。
- 中学生までの子どもを対象に年額12,000円の「子ども商品券」を給付しています。
- 保護者の経済的負担軽減を図り、子どもの健康の向上を目的として、中学校卒業までの子どもを対象に、通院・入院の医療費を全額助成しています。
- 新郷村立小中学校に在籍している児童生徒を対象に、学校給食を無償化しています。また、保育園児(3歳児以上)に主食費を助成しています。
- 中学3年生を対象にした村営学習塾を開校しています。

くらしの情報

【人口】 25,220人
【世帯数】 10,454世帯
【面積】 71.96km²

【産業別就業人口割合】
● 第1次産業 9.6%
● 第2次産業 28.9%
● 第3次産業 61.5%

【病院の数】
● 病院 2
● 診療所 8
● 歯科医院 6

【子育て】
● 認定こども園 13
● 幼稚園 1
● 小学校 5
● 中学校 3
● 高等学校 1

【高齢者福祉施設】
● 特別養護老人ホーム 3
● 軽費老人ホーム(ケアハウス) 1
● 老人(在宅)介護支援センター 3
● 老人福祉センター 1

【文化施設】
● 図書館 1
● 文化ホール 1
● 公民館 3

【スポーツ施設】 9

【買い物】
● スーパー 5
● コンビニ 12
● ホームセンター 3
● ドラッグストア 4

【交通】
● 路線バス 2
● コミュニティバス あり



1「全国将棋祭り」での子ども人間将棋 2「おいらせ鮭まつり」での鮭つかみ釣り 3カワヨグリーン牧場での「おいらせふれあい牧場」 4産直・レストランも人気の「アグリ」の里 5商業集積が進む「イオンモール下田」付近



おいらせ町

おいらせちょう Oirase

子どものびのび 大人いきいき
ともにつくる笑顔あふれる町



間木堤の白鳥

成長を続ける町
人口減少が進む青森県において、おいらせ町は人口が増加傾向にある数少ない自治体の一つです。町は恵まれた環境のもと、子育て世帯を中心とした支援を展開しています。

交通の便を活かした住みやすい町
八戸市・三沢市・十和田市に囲まれるように位置し、高速道路のインターチェンジや東北新幹線八戸駅・八戸港・三沢空港など陸・海・空の交通網の結節点に近く、地理的に恵まれています。地勢は西から東の太平洋に向かって傾斜した台地からなり、その台地の南に十和田湖を源流とする奥入瀬川が流れ、太平洋に注いでいます。

大型ショッピングモールと歴史文化遺産
昔ながらの商店街のほかに、大型ショッピングモール「イオンモール下田」が立地しています。また、カワヨグリーン牧

水の郷
おいらせ町では豊かな水資源が町の産業を支えています。基幹産業である農業では、奥入瀬川の水を引き入れた美田や広々とした畑地が広がり、工業では伏流水が銘酒・桃川を生み、水産業では名物のホッキ漁やサケ漁で知られています。

日本の自由の女神像と鮭まつり
ニューヨーク市と同緯度(北緯40°)で結ばれていることから建てられた、いちよ公園にある高さ日本一(20・8m)の「自由の女神像」、ギネスブックの参考記録にも認定されたことのあるサケのつかみ捕り日本一の「おいらせ鮭まつり」など、日本一がたくさんあります。

いちおしポイント!!

- 1 青い森鉄道の駅が2駅あり、通勤や通学に便利です。車の利用で三沢空港、JR八戸駅(新幹線)、八戸港フェリーターミナルまで全て30分以内にアクセスすることができ、陸・海・空全ての交通網に際がありません。
- 2 冬の風物詩「おいらせ鮭まつり」では、ギネスブック級のサケのつかみ捕りが楽しめます。
- 3 国内でもめずらしいテーマ館の「大山将棋記念館」(王将館)があり、8月には全国将棋祭りが開催されます。
- 4 県立百石高校食物調理科と協力したご当地グルメなど、地産地消の特産品開発を行っています。
- 5 観光農園「アグリ」の里」は、通年楽しめる体験型の農園です。県内最大級のイチゴ園や熱帯果樹園、動物ふれあいコーナー、レストラン等があります。

主な定住支援制度

住まい

●おいらせ町へ転入された方で、住宅を新築または取得する場合、一定の条件を満たすことで**定住促進助成金を支給**します。住宅及び土地取得費総額の10%(新築上限50万円、中古住宅30万円) また、子育て世帯等への**加算助成**もあります。

仕事

●**農業次世代人材投資事業**として、農業を始めてから経営が安定するまでの間、**新規就農者(原則50歳未満)**に対して**国の資金を交付**しています(最大150万円/年、最長5年間)。

子育て

●**保育料を国の基準額から軽減**するとともに、**第2子は半額、第3子以降は無料**とする保育料軽減事業を実施しています。また、**延長保育、休日保育**などを実施しています。

●保護者が労働等により昼間家庭にいない主に小学校の児童を対象に、児童館・児童センターの**放課後児童クラブの利用料を原則無料**としています。

●**医療費給付事業**として、**中学校卒業までの子どもの医療費を原則無料**としています。また、ひとり親家庭等の児童及び父または母を対象に、**児童が18歳に到達する最初の年度末まで医療費を一部助成**します(所得制限あり)。

●町内に住所を有する保護者を対象に**学校給食無料化事業**を実施しています。



町のシンボル、日本一の自由の女神像

お問合せ先

おいらせ町 政策推進課

青森県上北郡おいらせ町中下田135-2
TEL.0178-56-4273 (直通)
http://www.town.oirase.aomori.jp/

八戸駅から役場までのアクセス

●JR八戸駅より車で約15分
●JR八戸駅より青い森鉄道で約10分、
下田駅下車後、町民バスで約3分

八戸市と各町村の距離と所要時間(車)

新郷村 距離 35km 時間 約1時間	五戸町 距離 25km 時間 約40分	おいらせ町 距離 17km 時間 約20分
田子町 距離 40km 時間 約1時間	三戸町 距離 30km 時間 約45分	南部町 距離 11km 時間 約20分
八戸市		
階上町 距離 15km 時間 約30分		

八戸圏域内の路線バスは利用しやすい上限運賃を設定し、八戸市と各町村間が繋がっています。

八戸圏域 MAP & ACCESS

凡例

- 役所・役場
- 観光地・観光施設等
- 温泉
- キャンプ場
- 海水浴場
- スキー場
- 道の駅
- 空港
- 国道
- その他の道路
- 高速道路
- 東北新幹線
- 鉄道

ACCESS

新幹線	東京	最短 2時間42分	八戸
	名古屋	最短 4時間34分	
	仙台	最短 1時間9分	
	新函館北斗	最短 1時間27分	
車	東京	約 8時間	八戸
	仙台	約 3時間30分	
フェリー	苫小牧	最短 7時間15分(1日4便)	八戸
	東京	85分(1日3便)	
飛行機	札幌	60分(1日1便)	八戸
	三沢	バス 約 55分	
	大阪	100分(1日1便)	





ホームページ

<https://hachinohe-toshiken-iju.com>



首都圏におけるご相談

略称：
あおぐら

八戸市 東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2
全国都市会館5階

TEL 03-3261-8973

FAX 03-3239-6723

E-mail tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

開設時間 9:00 ~ 17:45

※土・日・祝日、年末年始はお休みです。

青森暮らしサポートセンター

〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1
東京交通会館8階「NPO法人ふるさと回帰支援センター」内

TEL 090-6342-6194 (移住・交流相談員)

FAX 03-6273-4821

ホームページ <http://www.aomori-life.jp>

Facebook <https://www.facebook.com/aomorigurashi>

開設時間 10:00 ~ 18:00

※月・祝日、夏季休業期間、年末年始はお休みです。
※相談会等で不在にする場合もございます。

パンフレットに関するお問い合わせ

八戸市 総合政策部 広報統計課 シティプロモーション推進室

〒031-8686 青森県八戸市内丸1-1-1

TEL 0178-43-2319

FAX 0178-47-1485

E-mail iju@city.hachinohe.aomori.jp